

障害者支援施設 伏野つばさ園

1 基本方針

ノーマライゼーションの理念のもと、すべての利用者の人権と尊厳を守り、自立した生活を地域社会で営むことを基本とし、個別支援計画に基づき、利用者の希望に沿ったその人らしい生活ができるよう支援する。

また、健康管理等に十分配慮しつつ、生産（就労）活動を通じて社会の一員としての役割を担い「自信と誇りを持って暮らせる」よう、障がい者の地域生活を支える。

2 利用者の状況（令和6年3月31日現在）

（1）入所者状況

（人）

利用人数		前年度末利用者数	令和5年度中に入退所状況										利用延人員	定員に対する年間平均稼働率	年度末利用者数	
区分	定員		入所人員	退所人員	退所理由別											
					地域移行		家庭復帰	施設移管	死亡	就職	サービス変更	他				
		GH	アパート等													
継続B型	125	114	7	18	0	0	0	0	1	0	8	9	20,488	68.0%	103	
生活介護	40	49	4	4	0	0	0	4	0	0	0	0	8,239	76.3%	49	
施設入所	40	39	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	14,120	96.4%	41	
4年度	継続B型	132	130	2	20	0	0	0	0	0	1	4	15	21,002	71.2%	114
	生活介護	40	26	24	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7,551	70.2%	49
	施設入所	40	38	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	13,800	94.5%	39

（2）障害支援区分

①就労継続B型

（人）

性別	障害支援区分							計
	無・非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	13	2	17	24	12	2	0	70
女性	13	0	5	11	3	1	0	33
計	26	2	22	35	15	3	0	103

③生活介護

性別	障害支援区分							計
	無・非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	0	0	3	12	14	4	0	33
女性	0	0	2	5	8	1	0	16
計	0	0	5	17	22	5	0	49

④施設入所支援

（人）

性別	障害支援区分							計
	無・非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	0	0	2	11	11	4	0	28
女性	0	0	2	3	7	1	0	13
計	0	0	4	14	18	5	0	41

3 事業の実施状況

(1) 作業班等の再編検討

受託作業班の再編に取り組み作業場のレイアウト変更や作業種の見直しを行った。

自主製造班・園外班の事業分割について話し合いを重ねたが、資金面や収支見込み等について、課題が残り引き続き検討する。

新型コロナが5類に移行しパンや菓子の販路も戻り、新商品を開発しながら収入アップを図った。パン工房の利用者を増やすことは出来たが、菓子工房の利用者増につながらなかった。

作業棟の新築・改築については、作業棟のレイアウト変更にとどまった。作業班の再編や事業分割において、食事の提供が課題であり引き続き検討を続ける。

生活介護については、作業、余暇活動、芸術活動、ミュージックケア、生活支援等、安定的に運営できた。さらにサービスの拡大を検討したい。

(2) 新施設移行2年目の安定的な運営

新型コロナが5類へ移行となり、行事や外出を再開し、生活支援、日中活動支援とも、検証を繰り返しサービスの向上に努めた。

施設入所支援に関しては、入所定員を満たし稼働率が上がった。短期入所についても、見学や申込みが多く満足していただけるサービスに努めた。就労継続支援B型事業については、稼働率が上がらず先の見通しも不安定な状況。

(3) 工賃の目標

自主生産作業・施設外就労については、高工賃を支給することが出来たが、その他の作業班については目標の平均工賃に届かなかった。

また、工賃支給方法について、メリハリのある支給方法を検討し実施した。生産活動において原材料・諸経費の削減を意識し、経営の効率化を図った。

職員会議・主査会において、予算執行状況や作業収入・稼働率の説明を行い、職員が経営意識を持つことが出来るよう情報提供を行った。

新規利用者獲得については、利用終了利用者の方が上回り、稼働率の改善には至らなかった。

平均工賃は、算定方法が改正されたことに伴い、目標の15,000円を上回る16,055円となった。

(4) 利用者支援の充実

個別支援計画では、アセスメントを大切にし、ご本人のニーズに基づいた支援が出来るよう、ご本人はもとより、担当者や関係者、また家族を交えて担当者会議を行った。PDCAサイクルにより、目標達成に向けた支援を行った。

嘱託医、協力医療機関と連携し、各種検診を実施し、成人病等の早期発見・治療につなげた。

各種ワクチンの接種を行い、マスクの着用、手指消毒、換気等を行い、感染症対策を継続している。

個人研修計画を元に、希望に添った研修に参加できるよう配慮した。積極的に研修や資格取得に取り組むなど、多くの刺激を受けることで支援の質の向上を目指した。

(5) 経営の効率化

法人の経営状況や当園の経営状況を主査会や職員会議等で伝えることにより、経営改善について意識付けを行った。また、生産活動において原材料や、諸経費、備品について節約や修繕に取り組み経費の削減、職員の意識変革を目指した。

特別支援学校・医療機関・相談支援事業所と連携を図り、地域における在宅障がい者や入院中の障がい者の見学・実習を積極的に受入れ新規通所利用者の確保に努めた。

実績稼働率〔就労継続支援B型：68.0%（目標85%）、

生活介護：76.3%（目標85%）、施設入所支援：96.4%（目標96%）

(6) 地域貢献・地域共生社会に向けた取組

生活介護で取り組んだ、アート作品の展示会をコミュニティプラザ百花堂にて開催した。

新型コロナウイルス感染症が5類となりイベントでの菓子やパンの販売を再開することが出来た。

はまなす作業所での「きれいにし隊」を組織し、地域内周辺主要道路やJR末恒駅周辺の清掃を行った。また、福祉センター内のバス停の清掃、地域美化活動に貢献した。

パン教室を企画し、地域の小学生また、近隣の高校生との交流を行うことができた。

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	実習期間(月)	実人員	延人員
社会福祉士実習	9、10月	2人	6人
鳥取短期大学	6、8、10月	6人	86人
鳥取県新規採用職員体験研修	1月	2人	4人
計		10人	96人

(2) ボランティアの受入実績

実績なし

5 附帯事業

(1) 短期入所事業 定員 4人

(2) 日中一時支援事業 定員 上記同様

(3) 利用実績 (人)

事業区分	今年度利用者数		前年度実績利用者数	
	実人員	延人員	実人員	延人員
短期入所事業(宿泊有)	21	471	12	228
日中一時支援事業	0	0	0	0

6 就労支援事業の実績

作業班	5年度目標額	実績額 (前年度実績)	達成率	作業の内容
受託作業班	10,350,000円	9,524,890円 (11,182,064円)	92.0%	部品加工袋詰め、おしぼり加工、端子加工等
園外班	9,000,000円	9,665,968円 (9,625,278円)	107.4%	企業内清掃作業、木工作业、除草・墓石清掃等
菓子製造班	14,000,000円	13,383,539円 (13,424,157円)	95.6%	菓子製造販売
パン製造班	12,000,000円	14,614,363円 (12,643,347円)	121.8%	施設給食、受注パン製造販売
喫茶班	2,000,000円	1,778,480円 (1,487,510円)	88.9%	コーヒー、軽食等の販売・配達
計	47,350,000円	48,967,240円 (48,362,356円)	103.4%	